

市長随想⑬



狭山市長 仲川 幸成
似顔絵・池原昭治氏

農地を維持していくために投入する堆肥の量の基準なのです。樹林は10年から20年で伐採され、幹や枝は燃料としていました。切り株から萌芽し、萱も生えます。萱は、萱葺き屋根の原料とし

水野、赤坂、くぬぎ山と続く狭山丘陵の延長線は、一斉に芽吹き季節を迎えました。雑木林がこの季節に奏でる芽吹き歌は、その音こそ聞こえなくとも、日一日と変化する姿に、まさに生命のたくましさを感じます。

その昔、農業生産は、江戸時代に造られた人工の雑木林・里山なくしては考えられませんでした。畑一町歩に林地一町歩が必要とされました。それは持続可能な

て必要不可欠でした。45年ほど前、経済の高度成長期が訪れ、電気やガスの時代が到来し、薪は不要となりました。そして、住宅の建て替えによって萱も不要に、また、落ち葉掃きをする農家も減少し、存在価値を失った里山は、ゴルフ場や住宅、工業団地へと変化したのです。農地法の規制のない里山は、この時、その多くが失われました。その後は、土地評価額の上昇によって、里山が相続税のため産廃処理施設や墓地に変化したことは、皆さんもご存知のことと思います。

残された里山の地権は個人にあります。が、市民共通の持ち物としての意識の中で、後世に残すべき狭山の大切な自然であり、資産であると私は考えています。

市長の主な動き

●2/28～3/23…第1回定例市議会 ●3/1…辞令交付式 ●3/5…社会福祉大会 ●3/8…奥富地区地域防犯ネットワーク設立総会 ●3/9…住宅協会評議員会 ●3/10…まちづくり市民公開講座 ●3/11…東京防衛施設地方審議会 ●3/12…茶の木賞・花いっぱいコンクール表彰式、三富地域農業振興協議会・平地林シンポジウム ●3/15…市立中学校卒業式 ●3/17…彩の国まごころ国体実行委員会常任委員会・総会 ●3/18…次世代育成支援計画策定委員会、消防演習 ●3/24…市立小学校卒業式 ●3/25…定例庁議、狭山シニア・コミュニティ・カレッジ修了式 ●3/28…埼玉県都市競艇組合議会定例会 ●3/29…青少年問題協議会、三市広域消防連絡協議会 ●3/31…辞令交付式

■市長をはじめ4役の給料を減額

厳しい財政事情が続く中、市では、これまでも実施していた市長、助役、収入役と教育委員会教育長の給料の減額支給期間を平成19年3月31日にまで延長します。また、減額する額も、市長が10%から12%に、助役が4%から9%に、収入役と教育長が4%から8%に改め、一層の財政健全化を目指します。

問合せ職員課へ内線3512

■狭山市議会議員の定数を27名から24名に削減

3月23日(水)、狭山市議会第1回定例会最終日に「狭山市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」が可決され、次回の市議会議員一般選挙から議員の定数を3名減の24名に決定しました。



問合せ議会事務局へ内線3311

■4月1日から市の組織を改正しました

市では、地方分権時代に対応した自立性のあるまちづくりを進めながら、より効率的な行財政運営に取り組



んでいくため、企業誘致推進課、道水路整理課、特別滞納整理室を新設し、教育に関する課題への確に対応するため、教育委員会事務局を生涯学習部と学校教育部の2部制にしました。この組織改正により、さらなる体制の強化を図ります。詳しくは19ページをご覧ください。

問合せ行革推進課へ内線7052